

P=ポイント

国	内	県	内
1日	4～6月期法人企業統計調査、経常利益過去最高 4～6月期法人企業統計調査(除く金融・保険業)では、全産業の経常利益が前年同期比11.6%増の31兆6,061億円と、統計上さかのぼることができる1954年4～6月期以降で過去最高。	5日	2023年プロ野球ファーム日本選手権、本県で10月開催 (一社)日本野球機構は、「2023年プロ野球ファーム日本選手権」を10月7日に宮崎市のひなたサンマリンスタジアム宮崎で開催することを発表。同市での開催は13回目で11年連続。
5日	7月家計調査、1世帯当たりの消費支出28万1,736円 7月の家計調査によると、1世帯(2人以上の世帯)当たりの消費支出は28万1,736円。物価変動の影響を除いた実質は前年同月比5.0%減と5カ月連続のマイナス。生活関連や自動車購入支出減が影響。	7日	2022年度本県産農畜水産物輸出額、111億5,600万円 2022年度の本県産農畜水産物輸出額は、前年度比25.7%増の111億5,600万円と過去最高を更新。輸出額の約7割を占める畜産物では、特に牛肉が同15.2%増の79億1,500万円と堅調に伸びた。
7日	7月景気動向一致指数、6カ月ぶりに悪化 7月の景気動向一致指数(速報値、2020年=100)は、前月比1.1P低下の114.5と6カ月ぶりに悪化。一致指数を構成する10項目(集計済み8項目)のうち、耐久消費財出荷指数など5項目が低下。	11日	日向市、ゼロカーボンシティの実現に向け㈱エスプールと連携 日向市は、ゼロカーボンシティの実現に向けた包括的連携協定を㈱エスプール(東京都)と締結。具体的には、CO2排出量等の算定や削減に向けたロードマップの策定など、環境活動に対する普及活動を行う。
8日	8月景気ウォッチャー調査、景況感2カ月ぶりに悪化 8月の景気ウォッチャー調査では、景気の現状判断指数(DI、季節調整値)は、前月比0.8P低下の53.6と2カ月ぶりに悪化。家計動向関連、企業動向関連、雇用関連すべての指数が低下。	12日	日向市と㈱コスモスモア、「動くオフィス」実証実験で連携協定 日向市と㈱コスモスモア(東京都)は、ワーケーションの推進ほか、ワーケーション領域における課題解決、地域活性化を目的に、「動くオフィスプロジェクト実証実験連携協定」を締結。
8日	7月国際収支状況、経常収支黒字幅が拡大 7月の国際収支状況(速報)は、輸出額が輸入額を上回ったことで貿易収支が黒字に転化したことから、経常収支は前年同月比プラス1兆8,831億円の2兆7,717億円と黒字幅が拡大。	13日	国道218号、蘇陽五ヶ瀬道路(五ヶ瀬区間)着工発表 国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所は、蘇陽五ヶ瀬道路(約7.9km)のうち、五ヶ瀬区間(約3.3km)を2023年11月3日に着工すると発表。開通時期は未定。片側1車線で通行は無料。
13日	7～9月期法人企業景気予測調査、人手不足続く 7～9月期の法人企業景気予測調査によると、大企業の全産業における従業員数判断指数(BSI、「不足気味」-「過剰気味」社数構成比)はプラス24.0と、49期連続の「不足気味」超。	15日	博多みやざき館 KONNE、マリノアシティ福岡に移転 2021年3月に博多バスターミナル2階に設置された民設民営のアンテナショップ「博多みやざき館 KONNE」がマリノアシティ福岡に移転。九州最大級のアウトレットモールへの移転で店舗面積を拡張。
20日	8月貿易統計、貿易収支2カ月連続赤字 8月の貿易統計によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、中国向け輸出の落ち込みなどから、前年同月比66.7%減のマイナス9,305億円と2カ月連続の赤字。	22日	「宮崎市有機農業推進協議会」発足 国が掲げる「みどりの食料システム戦略」に貢献することを目的に「宮崎市有機農業推進協議会」が発足。発足世話人である㈱宮崎アグリアート代表取締役松本嗣夫氏が会長に就任。
26日	9月月例経済報告、景況感5カ月連続の据え置き 9月の月例経済報告によると、国内景気の基調判断は「緩やかに回復している」と5カ月連続の据え置き。個別項目では、住宅建設の判断が着工戸数減少から「弱含んでいる」と2カ月連続下方修正。	29日	五ヶ瀬町、同町商工会、㈱ライトライトと連携協定 五ヶ瀬町は、同町商工会及び㈱ライトライト(宮崎市)と事業承継推進に関する連携協定を締結。同社が運営する事業承継プラットフォーム「relay」を活用し、後継者候補募集や移住の受入などを支援する。